



# 図書館かわら版

夏  
休  
み  
前  
の  
巻

今年度も夏休み前に特別長期貸出を行います。

長い長い夏休み。部活や楽しいイベントなど、夏も忙しい！あなたも、  
ゆっくり時間をかけて読む本や、ふだん手にとらない分野にも挑戦してみてください。  
新着図書（新しい本）はもうすぐ入る予定です。ぜひ、借りにきてください！

## 夏休み長期貸出のおしらせ

【期間】 7月3日(火)～

【冊数】 ひとり**5冊**まで

【返却日】 9月4日(火)

※7月2日(月)までに借りていた本を、一度全て返した人から、  
長期貸出を行います。

7月20日(金)から図書館は閉館です

本屋大賞受賞！ 辻村美月さん

「かがみの孤城」

ただいま展示中！



「あなたを、助けたい。」

学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光りだした。輝く鏡を潜り抜けたその先には同じような境遇の7人が集められていた！中世のお城のような不思議な建物、なぞの少女「オオカミさま」。ファンタジーの世界にどっぷり浸かれて、そして最後には温かく救われるような、だれかを救いたくなるような物語です。

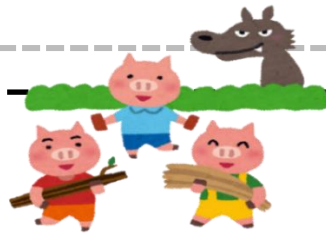
★その他にも辻村さんの作品を展示中です。この機会にぜひ借りてみて！

# 夏休み

## に読んでほしい！ おすすめの本

### 「鬼の橋」 伊藤 遊作

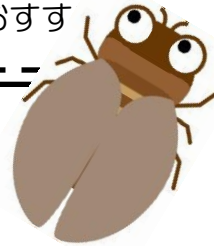
弘仁五年（814年）京都の夏。12歳の小野篁は五条橋の欄干をりつけた。橋を渡ろうとすると、やせほそった少女が「あやまりなさいよ」と怒っている。井戸に落ちて死んだ妹を思い、立ち直れない篁が冥界に足を踏み入れ、異形の者たちと交わり成長していく物語です。



### 「へそまがり昔ばなし」 ロアルド・ダール作 クエンティン・ブレイク 絵 灰島かり 訳

みんながよくなって昔話。主人公は、まあ大抵「いい子」に決まっています。でもダールさんの手にかかれば、昔話もブラックパワー全開の刺激的なお話に変身します。まじめでためになるお話を読みたい人には「ワリいことは言わねえ。他の本にしてくんない」と言いたくなるようなパンチの効いた昔話をどうぞ！

★昔話の主人公たちを裁判にかけちゃう、「昔話法廷」もおすす



### 「素数ゼミの謎」 吉村 仁著

13年と17年に一度、大量に発生する「素数ゼミ」。なぜ同じ場所で繰り返し大量発生するのか、なぜ一定の周期で羽化するのか、なぜこんなに長い間羽化しないのか…その謎に迫ると地球の壮大な歴史の不思議、そして数字の不思議に触れることができるのです。セミを見る目が変わってしまうこと間違いなし！夏にぜひ読んでほしい一冊。

### 「おどろきの東京縄文人」 瀧井 宏臣著

2012年11月、新宿区市谷加賀町二丁目の工事現場で大量の人骨が見つかりました。殺人事件!!とも思われたこの発見を調べていくうちに、この骨が今から4000年前～5000年前のもの、縄文時代のものであるということが判明するに至ります。東京のど真ん中、私たちが住む新宿で見つかった縄文時代の暮らしとそこにいた縄文人の姿を追った人たちの探求の記録です。

